

警告・エラーイベントが記録される現象について

ホスト OS に記録されるアプリケーションイベントログ

イベントログ内容

種類: 警告

ソース: Microsoft-Windows-Winlogon

イベント ID: 6004

説明:

winlogon 通知サブスクライバー <TrustedInstaller> で重要な通知イベントに失敗しました。

現象

Hyper-V 有効化時に、イベントログ(アプリケーションログ)に次の警告イベントが記録される。

発生条件

Hyper-V を有効化する (Hyper-V 有効化後にのみ登録される。以降の起動では、未発生)

対処方法

対処する必要はありません。

解説

Trusted Installer サービスが、シャットダウンにより強制終了されたことが原因です。
再起動時に記録されている場合は、運用上 問題ありません。

イベントログ内容

種類: 警告

ソース: WMI

イベント ID: 63

説明:

プロバイダー HgsClientWmi は LocalSystem アカウントを使うために Windows Management Instrumentation 名前空間 root¥Microsoft¥Windows¥Hgs に登録されました。このアカウントには特権があり、プロバイダーがユーザー要求を正しく偽装しない場合はセキュリティ違反が起こる可能性があります。

現象

Hyper-V 有効化時に、イベントログ(アプリケーションログ)に次の警告イベントが記録される。

発生条件

Hyper-V を有効化する (Hyper-V 有効化後にのみ登録される。以降の起動では、未発生)

対処方法

対処する必要はありません。

解説

Windows 管理インストルメンテーション (WMI) プロバイダーのホスト プロセスが特権を持つ ローカル システム アカウントで実行されたことが原因です。

HgsClientWmi プロバイダーが信頼できる発行元(Microsoft)であるために、このイベントは無視してかまいません。

ホスト OS に記録されるシステムイベントログ

イベントログ内容
種類: 警告 ソース: Service Control Manager イベント ID: 7000 説明: VMSP サービスを、次のエラーが原因で開始できませんでした。 システムに接続されたデバイスが機能していません。
現象
Hyper-V 有効化時に、イベントログ(システムログ)に次の警告イベントが記録される。
発生条件
Hyper-V を有効化する (Hyper-V 有効化後にのみ登録される。以降の起動では、未発生)
対処方法
対処する必要はありません。
解説
仮想ネットワークマネージャーにエラーが発生せず使用できている場合は問題ありません。

ゲスト OS（Windows 7 SP1、Windows Server 2008 R2 SP1）に記録される

システムイベントログ

イベントログ内容
種類:エラー ソース:VDS Basic Provider イベント ID:1 説明: 予期しないエラーが発生しました。エラー コード: 490@01010004
現象
ハードディスクを追加した仮想マシン上でイベントログ(システムログ)に次のエラーイベントが記録されることがある。
発生条件
仮想マシンの SCSI コントローラにハードディスクを追加する
対処方法
対処する必要はありません。
解説
ディスクを接続したコントローラのバス情報を VDS サービスが取得できないことが原因です。この情報は取得できなくても問題はないため、発生条件に合致している場合は、運用上 問題ありません。

ゲスト OS（Windows 7 SP1）に記録されるシステムイベントログ

イベントログ内容

種類: エラー

ソース: dmrvsc

イベント ID: 2

説明:

動的メモリドライバでエラーが発生しました。このバージョンの Windows では、この機能はサポートされていません。

現象

Windows 7 Professional Edition ゲスト OS の起動時に以下のイベントログ(システムログ)が毎回登録される。

対処方法

対処する必要はありません。

解説

Windows 7 Professional Edition では動的メモリはサポートされていないため、本イベントログは登録されても運用上問題ありません。